

令和7年度「子や孫が誇れる持続可能な町づくり」住民説明会
アンケート結果・質疑応答

●開催日時・場所

7月23日（水）知名字公民館、7月24日（木）正名字公民館、
7月25日（金）田皆字公民館、7月29日（火）余多字公民館、
8月4日（月）下城字公民館
各会場とも午後7時から9時まで

※（1）－（5）の単位：人

（1）参加された会場（字公民館）

知名字	正名字	田皆字	下城字	余多字	計
20	17	21	15	17	90

（2）あなたの年代

20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計
5	2	6	12	65	90

（3）説明会の内容

理解できた	普通	理解できなかった	計
84	21	1	106

（4）資料の内容

有益であった	普通	有益でなかった	計
70	31	2	103

（5）説明会の時間

長い	ちょうどいい	短い	計
5	101	2	108

●上記の（3）－（5）の評価について、理由がありましたらお書きください。

- ・とても良い研しゅう会でした。
- ・今後も続けて欲しいです。

- ・質問の答弁をいかに今後活かしていくか!!
- ・時間の配分を少し考えて欲しい。
- ・町長を中心に意欲的に諸施策に取り組んでいることがわかり有意義であった。
- ・丁寧に説明して頂いたので分かりやすかった。
- ・いろいろあったうれしいのですが財源が心配です。
- ・資料もっと具体的に
- ・大変よかった。よくわかりました。
- ・硬度低減化は議題になって20数年になります。なかなか事業が進みませんでしたが感謝です。これからの町民が快適な生活が出来ると思います。
- ・全ての資料添付して欲しい。担当課長に説明させて、町長は町民との対話をして欲しい。
- ・ていねいな説明で時間がかかりすぎた。
- ・特にコミュニティ無線の受信機の取替ができる事が良かった。知名町誌編さんの事が40年ぶりに出来る事が良いです。
- ・プロジェクターに表示された資料も紙の資料にあるとよかった。
- ・説明の時間が長すぎる。事前に配布して目を通してもらうなど工夫が必要ではないか？
- ・資料がコンパクトに要点をまとめてあり理解し易い。
- ・有意義であったかと思います。
- ・大変お疲れ様でした。”
- ・町の取組がよく分かった。
- ・町が対応していること、予定していることの内容がよく分かった。
- ・町の施策の具体がよく分かり、良かったです。

●今回の説明会に対する感想・要望をご自由にお書きください。

- ・水道水の軟水化を一日でも早く実施してほしい。
- ・現在の取組みの他に町の課題、今後やらなければならない事を説明して欲しい。(たとえば学校の統廃合等)
- ・知名町長他各課長さんお揃いであらゆる部門のご説明とても立派でした。ありがとうございました。特に芭蕉布は役場職員の皆様にボランティアいただき感謝申し上げます。
- ・町民のために町政が進められている取り組み感謝です。役場職員皆様に感謝です。
- ・早めの完成を願います。
- ・これからの知名町の取り組みや知名町の予算(どのくらいかかっているのか)といったことなど知名町への知識が増えて参加してよかったと感じた。
- ・役場設置の意見箱にこれからでる意見要望を出したいと思う。
- ・つごうの悪い質問には不明である。
- ・パワーポイントをもっと見やすくして欲しい。「子ども誰でも通院制度」について、タダで月に10時間程度通うことができるのか？タダだったら毎日登園している(月謝を払っている)子の親の経済的負担とでは大きく違うので

はないのか？

- ・もっと多くの皆さんに参加して欲しい。
- ・参加人数が少ないと感じましたので、多数の皆様に参加できる様な策をして欲しい
- ・新しい戸別受信機に期待しています。最近聞きとりにくいのと字内放送が聞こえない時があるので…
- ・住民説明会資料を携帯で見ながら説明を聞くことができるとても分かり易かった。水についてもとても期待しています。
- ・丁寧なご説明ありがとうございました。
- ・農政についてもっと広く説明
- ・①地球温暖化は地球規模課題と思う。最近の自然災害を見聞きするにつけ恐怖を感じます。知名町の取組みに誇りを感じる。②農地流動化推進事業は感動します。もっと補助金を加算して、家族ぐるみで転居する若者が出てくるのでは？③何事も行政でなく、各自知恵を出し合い、汗をかく指導も必要。
- ・住民説明会→町とふれあう語り会に変更し、質疑応答の時間を2時間にして欲しい。(町民の意見が多く聞ける為。)
- ・6月JA校区座談会(正名)、議員と語る会(住吉)、7月住民説明会(正名)と座談会が重なっており、開催月の検討をお願いしたい。
- ・質問内容の具体化がほしい。〈説明等がながすぎる!〉
- ・質問者の前置(話の)や自己紹介、経歴等が長い。短くして欲しい。
- ・町長との話し合いの場が設けられる事は良い事だと思います。
- ・言葉がはっきりわかりにくい
- ・知らなかった事が説明会に参加することで知ることが出来て良かったです。
- ・資料は事前配布してほしい。これだけ課長が参加しているのに、町長しか話をしないのであれば来ている意味がないのではないかと各課長が説明した方が情報が正確だと思うが。”
- ・町長の説明が非常にわかりやすい
- ・硬度低減化は施設建設同様に重要な事は運転開始後と維持管理と考えます。維持管理が最大限安価に継続出来る様に日々の技術向上が必要と考えます。また町民の水は町民で守る体制をつくる事も重要かと考えました。”
- ・町のとり組などがくわしく聞けて良かったです。また、ホームページなども見てみたいです。
- ・今後知名町が取り組みを行っていくかがわかりやすく説明されていたので、イメージしやすかったです。
- ・わかりやすい資料の準備をありがとうございました。町長の説明から知名町の未来に向けた熱い思いを感じました。知名町の未来を創る子どもたちのために、私たちにできることをしていきたいと思いました。
- ・田皆以外の道路に草木雑草の手入れを行なってほしい。字や子供会や老人会等で道を綺麗にする事を推奨してほしい
- ・良い機会でした。ありがとうございました。

- 会場での質疑応答（要約） 後日回答としたものを含めて記載しています。
※質疑は上段、回答は矢印（→）以降となります。
※要望については、回答を記載しておりません。

- ・ケガをし、救急車を呼ぶ際に携帯電話の電波が途切れることがあり不自由さを感じた。町として携帯電話の電波が届かない、届きにくい、つながらないなどの調査をしたことがあるか。

→携帯電話の不通地域の調査が毎年県からある。大手キャリアの電波がすべてつながらない地域がある。そのうち昇竜洞はLINE通話ができるようWi-Fiを整備している。すべての地域で電波が繋がるよう県等に要望していきたい。

- ・メントマリ公園に風力発電機が設置されているが、羽が現在動いていない。業務に支障がでてはいないか。

→メントマリ公園の小型レンズ風車は現在故障しており発電をしていない状況にある。故障箇所の原因究明の調査を行っている。

- ・ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業について、2030年までに温室効果ガスの排出量を2013年度比で46%以上削減することを目標としているが、この46%の目標は変わっていないか。今現在で把握している数値はどれくらいか。主に公共施設でその対策をとるとしているが、それで2030年に目標を達成できるか。公的な施設での施策だけで目標を達成できなかった場合、達成できないことが分かった場合、民間側に対する対策は考えられないか。新築一戸建てへのソーラーパネルの設置などの施策は考えられないか。

→2030年までに46%以上の温室効果ガスの削減することを目標に取り組を進めている。現状数値の把握については、予定どおり事業の実施ができており、46%以上の削減に向けて進んでいる。民間施設への施策の導入も視野に入れている。ただし事業の計画については、環境省と協議して作っていることから、公共施設以外の民間の施設に導入するときは環境省との協議が必要になる。民間への補助について町としては、EV車の購入に当たっては今年度から補助をしていくこととしている。家の壁に貼り付けられる太陽光パネルについてはまだ割高であるが、今後需要と供給のバランスが取れてくると価格が下がってくることが想定される。その段階で町として補助することができればと考えている。

- ・旧庁舎、中央公民館、老人ホーム（長寿園）の跡地利用について構想はあるか。

→このことについては、町民会議の意見を聴いたが、会議の多く委員から、町が活性化するような複合的な施設を造ってはとの意見があった。この意見を受けて、国土交通省の官民連携推進事業を活用し、遊休施設の利活用について調査をした。旧庁舎跡地については、複合施設を建設し、人が集まるような取組を進めていく考えは持っている。

・国営地下ダム事業が間もなく終了するが、現在事務所として貸している建物の今後の利用方法はどのように考えているか。

→農林課の土壌診断室など、現在の役場庁舎で不足しているものに利用していく。そのほか、各所属に必要としているスペースがないか確認を行っている。

・少子化による小学校、中学校の存続について説明をお願いしたい。また、集落のあり方について、町としての取組を聞かせて欲しい。

→子供たちの人数が減り続けている。中学校においては令和10年度までは横ばい又は微増あるが、11年度から下降に転ずる。このような中で、子供たちの学ぶ環境をどう作っていくのかが非常に大事になる。本年度中には、学校の在り方検討委員会を作るための準備委員会を設置する。令和8年度当初から検討委員会で十分議論いただきたい。

集落のあり方については、本年度から企画振興課のなかに字活性化推進室を設置し、職員を1名配置した。今後、各字の区長から字で抱えている課題に対しどのような支援ができるのかなどヒアリングを行うこととしている。スモールスタートとして、芦清良字からこの取組を始めていくこととしている。

・農地流動化推進事業について、倉庫のマッチングはどのように行うのか。

→現在は情報の収集を行っている段階である。収集した情報は、町のホームページや地域計画の話し合いの場において情報提供を行い、マッチングを図っていききたい。

・沖永良部空港のジェット機が就航できるように滑走路の延伸ができないか。

→沖永良部空港の滑走路を延伸するためには、海を埋め立てる必要があり、国の理解が得られない。現在、日没時間や天候の関係で飛行機の欠航が多い。欠航を少しでも少なくするために、計器着陸装置や夜間照明の設置を要望している。

・太陽光パネルがあしびの郷・ちなや役場庁舎の駐車場に設置されているが、太陽光パネルの下には何台車を停めることができるか。また、そこを使用する職員から駐車料金を千円程度徴収することはできないか。

役場庁舎に自家発電機が設置されているが、停電した場合、何日くらい自家発電機で対応できるようになっているのか。

→太陽光パネルが設置されている箇所については、2段目の駐車場には35台、3段目については28台駐車することができる。駐車料金の徴収については、太陽光パネルを設置したのはPPA事業者でえらぶゆり電力であり、その下に駐車した職員から料金を徴収することはできない。

停電の際、3日間は自家発電機で対応できるようにしている。

・子供の一時預かりを行うそら・SORAについて、利用効果やどのような取組をしているのか教えて欲しい。

→そら・SORAの一時預かりは、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後

5時30分まで行っている。定員は5名で、料金は町内の方が1時間300円としている。利用者は年間で1,000名程度です。こども園に子供を預けることができない世帯に対しては、24枚の子育て応援きっぷを配布している。

・子供の人数が減ってきており、学校の適正規模について町は話し合う場を立ち上げるとしているが、それと合わせて役場の課の再編や行政サービスを維持するためにどのような取組をするのか。また、それを担う職員を育てるためにどのような考えを持っているのか。

→生徒の数が減ってきている状況で、学校教育をどのように進めていくかについて、学校の在り方検討委員会を作るための準備委員会を設置するよう教育委員会に指示をしている。人口が減ってきている時に役場の組織をどのようにしていくかについては、少ない人数で町民福祉の向上を進めるためにも現在、DXの取組を推進している。決裁の電子化などに取り組んでいる。また、課の再編に向けて、各課の業務の棚卸をしている。

・農業のマッチングと合わせて子育てに関する情報を提供することで、若い方へのアピールになるのでは。(提言)

水道水硬度低減化について、軟水化のレベルが100なのか150なのか、50から100の間を目指しているのか。また、軟水器を入れている家庭において、配水経路を変える必要があるのか。その補助があるのか。

→硬度については、100以下を目指している。家庭に設置している軟水器は硬度がほぼ0であり、和泊町では硬度が130に対して軟水器を使用している家庭もあるので、軟水器の使用に当たっては各家庭で判断いただきたい。

・脱炭素の取組として学校においては紙のリサイクルや水道、紙の使用状況が見える化をしている。学校として重点的に取り組んで欲しい分野があればお聞きしたい。

→各教室にエアコンを設置しているが、教室を使用していない場合はこまめに消すようにして欲しい。水道の漏水が疑われる場合は早急に連絡をしてください。紙の削減のためにタブレットを有効に活用してください。

・子供たちの屋内での居場所づくりを進めているようだが、子供の範囲に小学生が入るのか。

→場所については町民体育館を想定しているが、体育館の利用状況が限られていることから、どの程度まで年齢を上げるのか検討をしているところです。

・町民体育館には親が送迎するのか、バスで送迎をするのか。

→送迎について、町で実施するかは現在のところ予定はしていない。保護者の同伴については、他の自治体の事例を確認したところ、保護者が同伴しているところが多かった。

・水道水の硬度低減化後の水道料金はどのようになるのか。議会でも学校の再

編の話題が出ていたが、町としてはどのような見通しを持っているのか。

→水道事業は町民の皆さんの使用料で運営している。令和6年度の使用料は1億5,500円程度となっており、何とか黒字であった。今年3月に今後10年の水道事業の経営戦略を策定しているが、令和9年度には赤字になるとの見通しとなっている。新しい施設がどの程度電気料がかかるのか精査する必要がある。来年には料金改定に係る審議会を開催し、どの程度料金を上げる必要があるのか協議をしていただき、その後町民に説明を行うことを予定している。

令和12年度以降は、小学校も中学校も軒並み生徒数が下降していく。学校再編については、子供たちの学ぶ環境をどうしっかり保障していくのか、学校は地域があつての学校であるので、そのバランスをどのようにとっていくのが大事である。今年度学校の在り方検討委員会を立ち上げるための準備委員会を設置する。ほかの地区の情報を収集して準備を進めている。令和8年度には学校の在り方検討委員会を立ち上げて、色々な方に入っていただいて議論を深めていきたい。

・旧庁舎の跡地利用について、道の駅として活用できないか。

→町の遊休不動産の活用について、まちづくり町民会議で議論いただき答申があつた。答申では、道の駅についても提案があつた。複合的な施設を建設し、町が活性化するようなものにしていきたい。

・水道水の硬度低減化の方式と水道料の試算を示してほしい。

→工法はEDR法（電気透析法）で行う。硬度は100以下を目標としている。2年前にこの装置を使用して上城で実証実験を行った。水道料金については、今後10年間の経営戦略を立てており、今年、来年度までは黒字となっているが、9年度からは赤字になる見込みとなっている。新しい施設ができて電気料金などの維持管理費がどの程度になるのかについて検討して、9年には示すことができると考えている。

・EDR法をとっているところでトラブルがなかったか、メンテナンスがどうなっているのか把握しているか。

→喜界町がEDR法を導入している。この工法では膜を使用するが、膜は1年に4分の1ずつきれいに洗い直し、膜は数年度ごとに取り換える必要がある。産廃物がでないのがいい点である。

・農林課の新規事業の説明があつたが、もう少し予算を増やすことができないか。

→新規事業に当たっては、農家の皆さんに大いに利用していただき実績を積み上げたうえで予算要求を行っていきたい。

・ハチマキ線の整備について、大山線から右回りで上城小学校で止まっている。芦清良ではカーブが多く、雨が降るとプール状態となっている。ハチマキ線

はいつ開通するのか。

昨年の職員の横領事件について、議会でも質問があったが進展がないようにみられる。1年経過しており、時間が長くなれば長くなるほど真相究明が難しくなる。町民も心苦しく思っている。町外に行くところの件が話に上がる。一刻も早くこの問題を法的な措置をとって、早く公表して欲しい。

→ハチマキ線の東回りについては、国と県を含めて話をしているが、畑や輸送物資の数が、西回りと同じだけのものをつくる状況にないというふうに聞いている。町の予算で舗装は施していくこととしている。

公金の詐取については、弁護士に依頼し書類の整理に1年かかった。現在は警察にその書類を提出しており、警察が立件に向けた確認作業を行っている段階である。

・ハチマキ線の交通量を調べて欲しい。

横領事件については、町民の立場になって、情報をこまめに出せば、町民は納得すると思う。

→ハチマキ線については、令和3年、4年に名義人の調査、交通量の調査を行っている。県の見解では、支線が多いということ、費用対効果が見込めないことから農業・農村サイドからは事業の導入が難しいと判断され、令和4年に断念した。

公金詐取については、告訴状が受理された段階において、どの程度情報を公表するのか弁護士と協議します。

・水道水の硬度低減化について、今使用している軟水器はどうなるのか。

→硬度が100以下でいいのであれば撤去いただいても構わないし、硬度が0近くまで必要であればそのまま使用されることもあるかと思えます。和泊町でも硬度低減化をしているが、軟水器を使用されている方もいる。メーカーに確認したところ、塩を入れる回数が減る（1月に1回から2月に1回）のではないかと聞いている。

・カルシウムは完全に撤去されるのか。

→硬度を構成しているのは、カルシウムとマグネシウムである。家庭の軟水器ではカルシウムは完全に抜き取れるが、マグネシウムを抜き取るのは不可能である。EDR法ではマグネシウムもカルシウムの抜き取ることができるので、飲みやすくはなる。硬度は50以上100以下を想定しているので、その分のカルシウムとマグネシウムは残ることになる。

・役場職員の副業について、どの程度まで認めるのか。

→職員の副業については、本業が疎かになるようなものは許可できない。

・昨年10月の区長会で町長から、町の発展のためには21の字が盛り上がっていくことが必要であるということと、専任職員を置きたいという話はどうなっているか。

→字活性化推進の担当を1名配置している。今年は試験的な取組として芦清良字が手を挙げられた。芦清良字では稼げる字を作っていこうということで新聞にも紹介された。芦清良字の取組を進めながら、課題が見つけたらと考えている。

・住民説明会は大切だと思うが、参加者が少ないと感じる。このことについてどのように考えているか。

現在の下水道の接続率ほどの程度か。

イノシシの状況はどうなっているか。

→住民説明会については、もう少し増えてくるといいかと思うが、参加できなかった皆さんへの対応としては、役場入口に設置しているご意見箱を活用していただきたい。また、ホームページからご意見・お問い合わせができるようになっているので活用いただきたい。

下水道の接続率は令和7年7月現在で、知名地区（公共下水道）が89.7%、田皆地区（農業集落排水）が88.8%、下平川地区（農業集落排水）が61.2%、住吉地区（農業集落排水）50.1%となっている。下平川・住吉地区の接続率を上げるために、今年から宅内工事への助成を始めた。

イノシシについては、捕獲事業を平成6年度から行っており、現在までで1,381頭を捕獲している。令和4年度は0頭、5年度は1頭、6年度は0頭となっている。捕獲数は減っているが、昇竜洞近辺のほ場ではさとうきびの食害があった。生息地は狭まってきており頭数も減ってきてはいるが、まだゼロではない。

・ゴミの日に段ボールや紙が集積所で見られるが、燃やすのではなく再利用できないか。

→都会では不要になった紙類は収集業者がいる。本町では段ボールについてはクリーンセンターに運ばれたものが沖縄に送られて再利用される流れはできている。紙については、焼却せざるを得ない状況である。

・大山の奥ため池付近で伐開と測量を行っていたが、水道事業の事業用地なのか、基盤整備の用地なのか。

→浄水場の建設予定地となる。7月31日に地鎮祭に行い、年度内の完成を目指している。

・その用地は高低差があるが、施設はそこを切り下げて建てるということか。

→現状の高さで（2段）施設を造っていく。上の段に管理棟、下の段に配水関係の施設を造る。

・芭蕉布について、6月からは町で地域おこし協力隊を採用している。知名町が伝統工芸品である芭蕉布を有効に生かして、芭蕉布のまち知名町となれるくらいの構想を持っているのか。

→町としてはふるさと納税の返礼品の対象としていること、観光客に対する観

光地としての紹介など、側面からバックアップしていきたい。

- ・小学校、中学校の再編について、町として検討していることはあるのか。
→今年の施政方針で、学校の適正規模化に向けて、学校の在り方検討委員会を立ち上げるための準備委員会を設置することとしている。来年度は、学校の在り方検討委員会を開催し、いろいろな方に入っていただき、1年から2年をかけて議論をしていただく。

- ・農林課新規事業についての件で、肥料をくぼるのはいいが、赤土流出等で海が汚れたり、海の生物がいなくなったり等があるので、その対策はどう考えているのか？
→基盤整備にて整備した畑を所有者へ引き渡したのちは所有者、耕作者の責任において管理していただいている。法面などが崩壊し個人の財産である貴重な赤土がほ場外へ流出しないように、「勾配をほ場の排水口側に傾ける（逆勾配にしない）」、「緑肥作物を植えるなど裸地期間の減少、落水口や側溝、土砂留めなどの定期的な清掃」、「法面の草の根を枯らさない（除草剤をかけない）」などを広報誌や防災無線、水土里サークルを通じ周知啓発している。また、この事業は、肥料ではなく土壌改良資材であり土づくりを推進するための取組みですが、緑肥も対象としており、緑肥を作付けすることで畑の裸地状態を防ぐことができるため、結果として、緑肥の根張りにより表土の流出防止に繋がると考えています。